

ニュース記事で見る 米国の電子書籍市場と技術動向

2021年12月22日

中島由弘

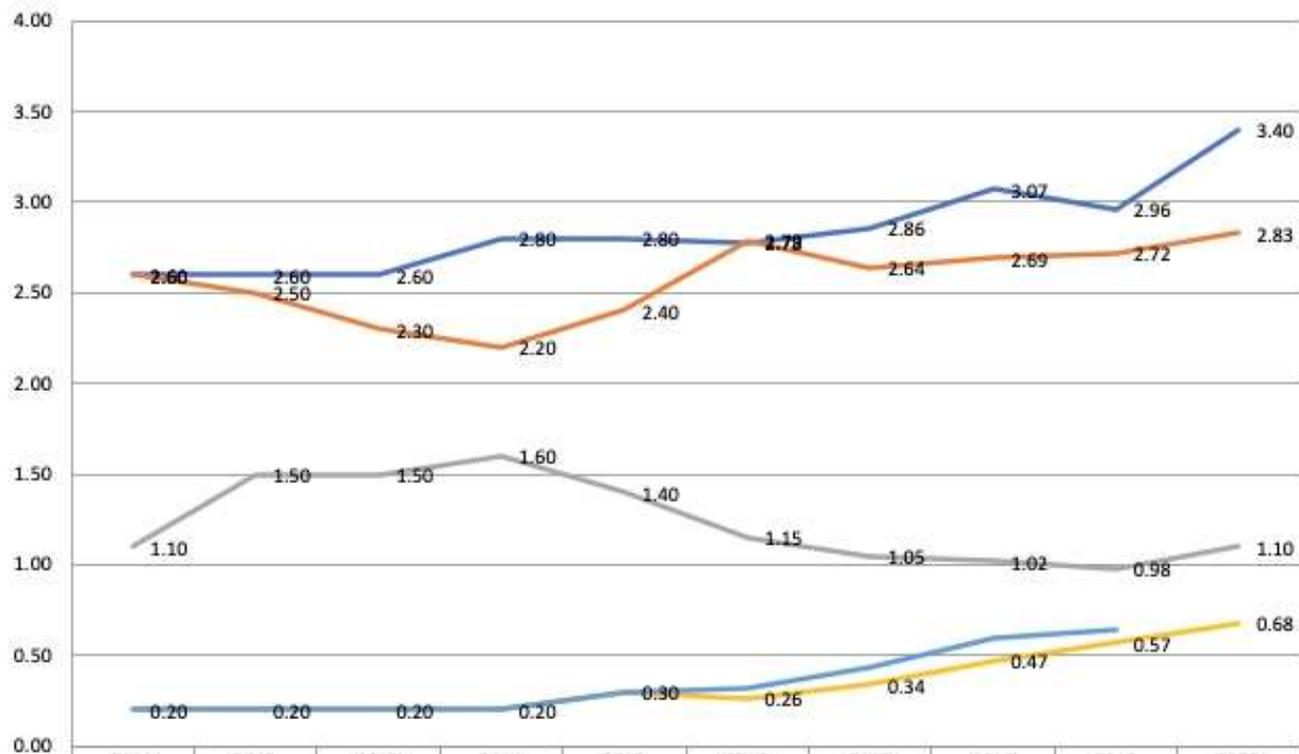
①2020年通期米国の電子書籍市場：一般書（ジャンル別）

ジャンル	2020	2019	増減
大人向けフィクション／ノンフィクション	\$5,502.1	\$4,913.8	12.0%
子供向け／ヤングアダルト向け	\$2,430.5	\$2,283.5	6.4%
宗教書	\$667.2	\$640.5	4.2%
専門書	\$618.9	\$612.7	1.0%
児童教育向け教材	\$2,546.7	\$3,168.3	-19.6%
高等教育向け教材	\$2,872.5	\$3,001.6	-4.3%
大学出版物	\$49.4	\$48.3	2.3%
その他	\$65.5	\$70.2	-6.7%
合計	\$14,752.8	\$14,738.9	0.1%

② 2020年通期米国電子書籍市場：一般書（出荷金額）

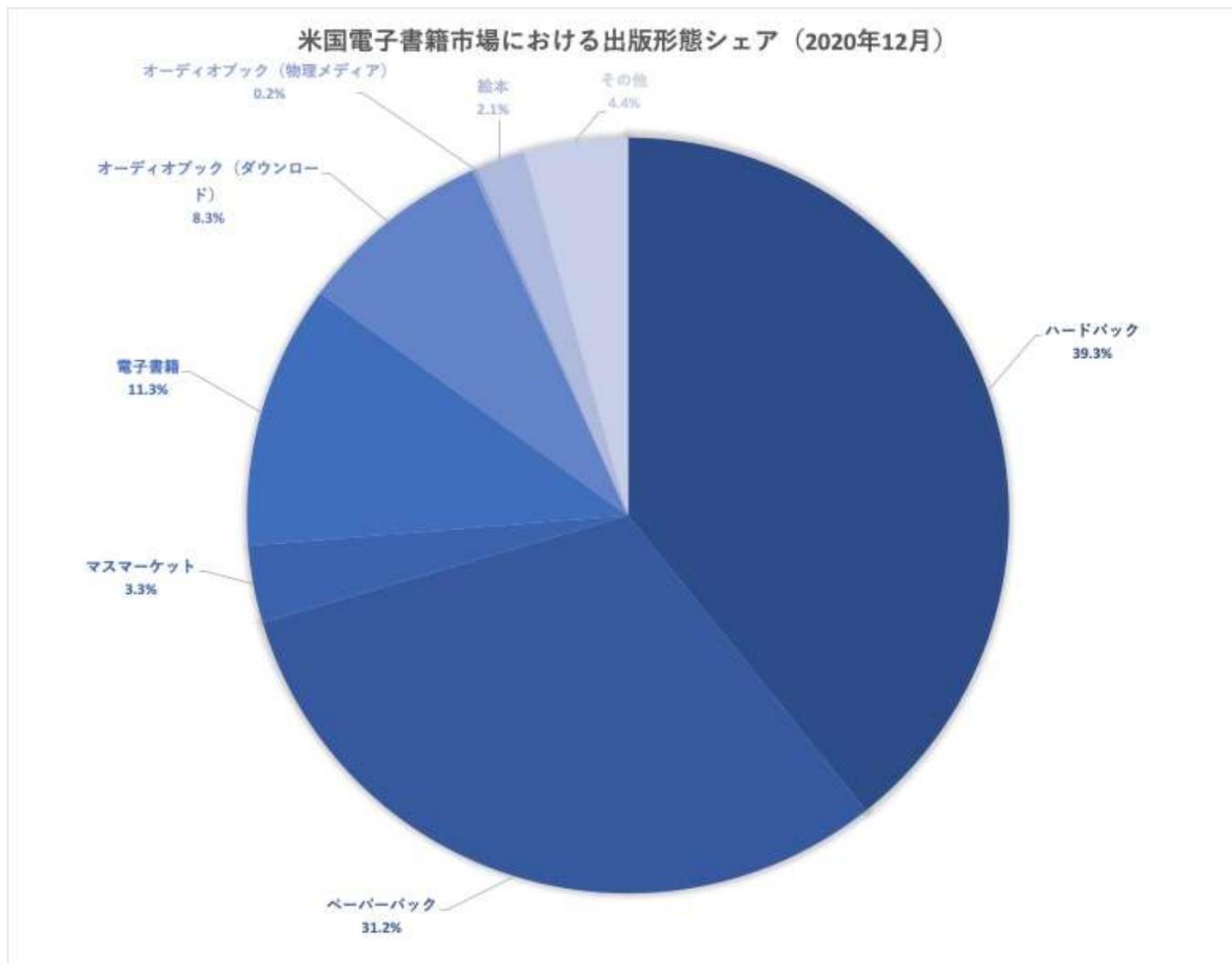
米国の一般書出版形態別の出版社出荷金額（2011年～2020年）

出版社出荷金額（単位：ビリオンドル<10億ドル>千億円）



	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020
ハードバック	2.60	2.60	2.60	2.80	2.80	2.78	2.86	3.07	2.96	3.40
ペーパーバック&マスマーケット	2.60	2.50	2.30	2.20	2.40	2.79	2.64	2.69	2.72	2.83
電子書籍	1.10	1.50	1.50	1.60	1.40	1.15	1.05	1.02	0.98	1.10
ダウンロード型オーディオブック	0.20	0.20	0.20	0.20	0.30	0.26	0.34	0.47	0.57	0.68
その他（パッケージ型オーディオブック含む）	0.20	0.20	0.20	0.20	0.30	0.32	0.43	0.60	0.64	

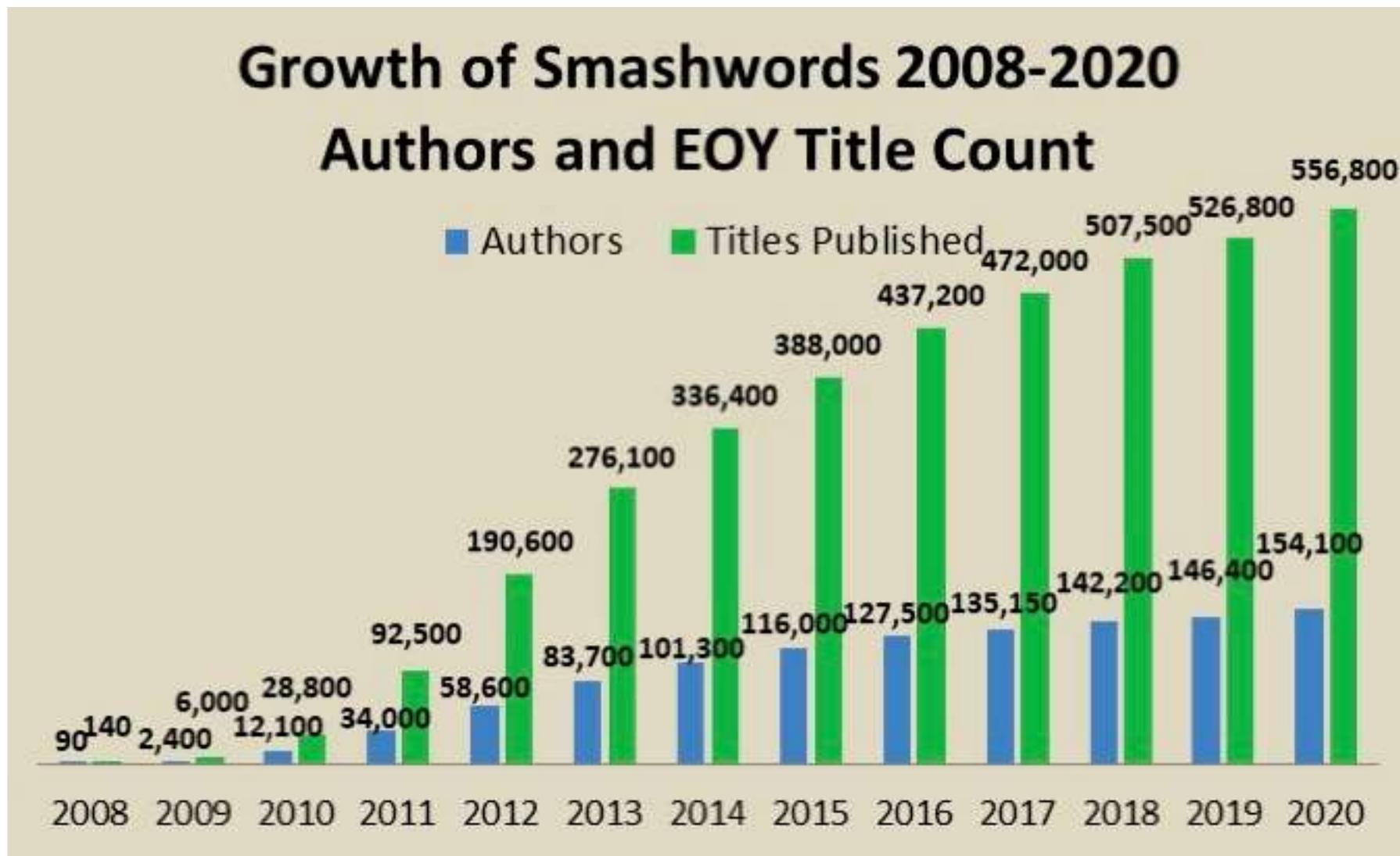
③ 2020年通期米国電子書籍市場：一般書（形態シェア）



④ 2020年通期米国の電子書籍市場：一般書（考察）

- 一般書市場に占めるデジタル版の割合はおよそ20%
- デジタル版伸張の原因はコロナ禍におけるステイホームによるオンライン消費の増加
- コロナ禍の収束と共に、2021年は対前年比でデジタル版が縮小傾向の可能性

⑤ 2020年通期米国電子書籍市場：セルフ(発行数推移)



⑥ 2020年通期米国電子書籍市場：セルフ出版（考察）

「COVID-19は著者、読者、小売業者に多大な影響を与えた。2020年はインディーズ作家にとって低調なスタートとなり、ほとんどの電子書籍販売店では年初の2か月間是对前年比で売上が減少した。これは数年来の電子書籍販売の低迷傾向が継続していることを示している。COVID-19はその低迷した売上傾向を覆した。インディーズの電子書籍作家はロックダウンの下で読者からの急増する電子書籍の需要に対応するために有利な立場にあった。しかし、
年が明けて人々が仕事に復帰すると、売上は減少傾向に転じた」(出所：スマッシュワーズ社CEOブログ)

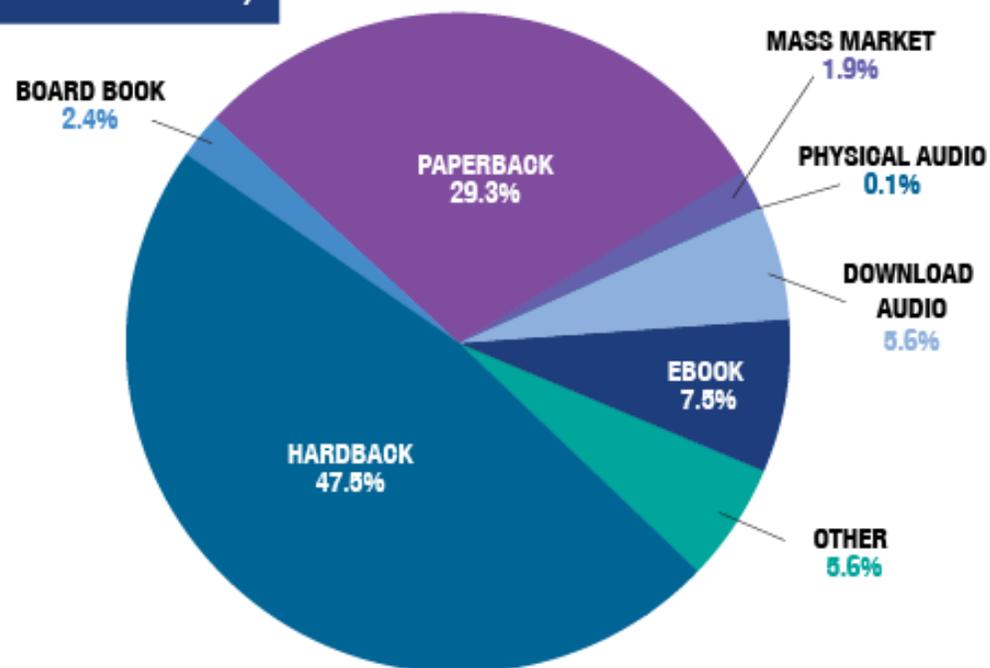
⑦米国の電子書籍市場：2021年10月単月

- 10月の物理（紙）媒体の売上は、一般書分野では、
 - ハードバック：16.0%増
 - ペーパーバック：35.2%増
 - マスマーケット：7.0%増
 - ボードブック：2.3%減
- 10月の電子媒体の売上は、一般書分野では、
 - 電子書籍が対前年同月比で12.3%減（8,400万ドル≒100億円）
 - ダウンロードオーディオが対前年同月比で10.3%増（6,270万ドル≒75億円）
 - 物理オーディオ（CDなど）は対前年同月比で45.3%減（160万ドル≒2億円）

⑦米国の電子書籍市場：2021年10月

PERCENTAGE OF TOTAL TRADE SALES IN OCTOBER 2021, PER FORMAT

(CONSUMER BOOKS)



AAP ASSOCIATION OF AMERICAN PUBLISHERS

⑧米国の電子書籍市場：2021年1月～10月

- 物理（紙）メディアの一般書の売上は14.1%増
 - ハードカバー：15.7%増
 - ペーパーバック：21.3%増
 - マスマーケット：6.0%増
 - ボードブック：8.8%増
- 電子メディアの売上
 - 電子書籍：対前年同期比で5.6%減（8億9,250万ドル≒1,000億円）
 - ダウンロードオーディオ：対前年同期比で14.2%増（6億3,200万ドル≒750億円）
 - 物理オーディオ（CD）：対前年同期比で10.9%減（1,770万ドル≒20億円）

⑨ 出版社を取り巻くデジタル技術動向（海外ニュースから）

- **ブロックチェーン：NFTの利用を模索するメディア各社**
 - マーベル（スパイダーマンなど）：NFTを利用するデジタルコミックやデジタルコレクターズアイテムを販売
 - ニュースメディアCNN：大統領選挙や歴史的に重要なシーンなどの報道画像や動画などを販売
 - 大手通信社APはピューリッツァー賞を受賞した歴史的な報道写真を販売
 - S!NG：NFTを利用してクリエイターが自分の知的財産を守ることができるプラットフォームを開発
 - ディズニー：ブロックチェーンを利用する著作権管理の仕組みについて特許を取得
 - TIME：表紙をNFTとしてオークションに
- **子どもの読書を助ける「リーディングサイドキック」—アマゾン**
 - 6歳～9歳の子どもを対象にした読書支援のサービス。アレクサと交代で朗読していく。アレクサは子どもの声を聞き取って、その発音や正確さを評価し、つまずくかどうかや、その頻度に応じたフィードバックをする。
- **新規オーディオブック市場へ参入—スポティファイ**
 - すでにオーディオブックの配信サービスを手がけているストーリーテルとの協業によって提供。すでにストーリーテルは50万タイトル以上のコンテンツを25の国と地域で提供中だという。
- **アップル社のポリシー変更**
 - アップル社の課金システムをバイパスし、独自の課金システムを利用することが可能に。

⑨ 出版社を取り巻くデジタル技術動向（海外ニュースから）

- 大日本印刷が米国イングラム社（ライトニングソース社）と提携（2021年8月24日発表）
- 世界規模のPODネットワークに参加
- 少数出版物などで、物理的な輸入をしなくても、現地での生産が可能
- 「5年後に30億円の売上を目指す」（大日本印刷）

